

令和7年度小児医療対応力向上技術研修会開催要項

- 1 目 的 医療的ケア児等の小児の在宅医療を推進するため、児の健康管理を行いながら、地域で生活する子どもと家族に対し、包括的な看護を実践する訪問看護師育成の一助とする。
- 2 目 標 1)医療的ケア児とその家族の看護の基本的事項について理解し、児が在宅療養生活を継続できるよう、児とその家族への看護に必要な基本的知識、技術を習得する。
2)小児の医療処置への対応及び使用する医療機器等について理解できる。
3)他職種との連携、協働について理解できる。
- 3 実施主体 富山県・公益社団法人富山県看護協会
- 4 開催日時 1日目 令和7年9月12日(金)～令和7年12月12日（金）オンデマンド研修
開催場所 2日目 Aグループ 令和7年10月8日（水） 9:00 ～ 16:00 富山大学附属病院 周産母子センターNICU,GCU
Bグループ 令和7年10月29日（水） 9:00 ～ 16:00 富山大学附属病院 周産母子センターNICU,GCU
3日目 令和7年9月17日～10月22日 9:00 ～ 16:00 訪問看護ステーションままアシスト
※2日目（実習・演習）はいずれか1日のみの受講となります。
※3日目（実習）は1日の同行訪問になります。
- 5 講 師 小児科医師、新生児集中ケア認定看護師、公認心理師、作業療法士、相談支援事業所、富山県厚生部障害福祉課 等
- 6 対象者 県内訪問看護ステーションに従事する看護職員（医療的ケア児等の小児訪問看護を実施及び予定している事業所職員）
- 7 受講料 無料 （※全コース受講生は事前の抗体価検査料は自己負担とする）
- 8 定 員 1日目20名／2日目各4名(8名)／3日目8名
※1日目のみの受講も可能(ただし3日間の全日程を受講した者に受講証明書を交付)
- 9 研修日程

区 分			研 修 内 容		講 師
オンデマンド研修	1 日 目	Ⅰ 基 礎 知 識	講義① 40分	医療的ケア児等の支援に係る制度	富山県厚生部障害福祉課 地域生活支援係 係長 岩崎 渉 氏
			講義② 60分	医療的ケア児と家族のためにできること	富山大学医学部 小児科学教室 周産母子センター 准教授 田村賢太郎 氏
			講義③ 40分	障害児支援計画の作成等について	社会福祉法人くるみ 相談支援専門員 松田 瞳 氏
			講義④ 30分	医療的ケアを必要とする児と家族の看護 （医療的ケア児の概要・児の特徴・看護の実際）	富山大学附属病院 新生児集中ケア認定看護師 田村 愛 氏
			講義⑤ 25分	医療的ケアを必要とする児の医療的ケアの実際 （栄養管理・呼吸管理）	富山大学附属病院 医療的ケア児コーディネーター 土田 悦子 氏
			講義⑥ 20分	医療的ケアを必要とする児の家族の心理と支援	富山大学附属病院 公認心理師 小暮 奏 氏
			講義⑦ 20分	小児のストマ管理	富山大学附属病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 吉井 忍 氏
			講義⑧ 20分	医療的ケアを必要とする児の呼吸器、蘇生 （在宅酸素・蘇生方法の家族への指導の実際）	富山大学医学部 小児科学教室 周産母子センター 講師 猪又 智実 氏
			講義⑨ 20分	医療的ケアを必要とする児に関わる感染予防対策	富山大学附属病院 感染管理認定看護師 松浦 美里 氏
			講義⑩ 25分	医療的ケアを必要とする児に関わるリハビリの実際 （リハビリの実際と家族への指導の実際）	富山大学附属病院 作業療法士 永原 詩乃 氏
			講義⑪ 20分	医療的ケアを必要とする児に関わる制度	富山大学附属病院 医療福祉サポートセンター MSW 小塚 麻友子 氏
実習・演習	2 日 目	Ⅱ 対 応 力 向 上	9:00～16:00 実習・演習	実習：NICU・GCU・南2階病棟 演習：栄養管理・呼吸管理・蘇生・呼吸器 リハビリの実際 連携：退院支援カンファレンス・意見交換等	富山大学医学部 小児科学教室 周産母子センター 講師 猪又 智実 氏 副看護部長 新生児集中ケア認定看護師 鹿島 美友紀 氏 新生児集中ケア認定看護師 田村 愛 氏 医療的ケア児コーディネーター 土田 悦子 氏 作業療法士 永原 詩乃 氏 南2階病棟看護師長 大西 典子 氏 医療的ケア児コーディネーター 萩中 希 氏 医療福祉サポートセンター MSW 小塚 麻友子 氏
実習	3 日 目		9:00～16:00 実習（同行訪問・講義）	小児を対象とした訪問看護ステーションにおける訪問看護の実際	訪問看護ステーションままアシスト 管理者 高尾 久子 氏